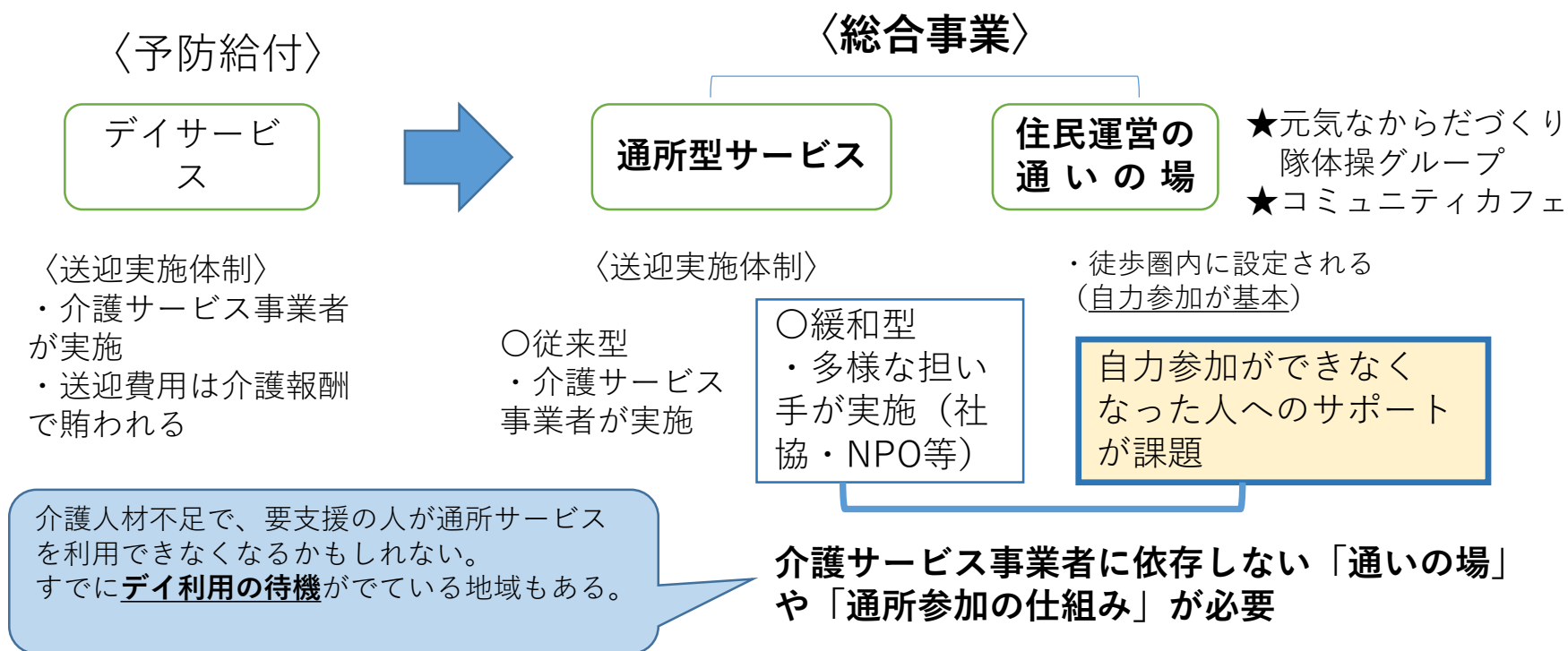


**1. 新しい「通いの場」
の開所、
円滑な運営(新規)**

**2. 通所付添サポーター
事業の推進(新規)**

総合事業が始まって起こった新たな課題



新たな通いの場の形

介護サービス事業者に依存しない通いの場として、地域の方々が主体となって運営する通いの場を作ることができます。

通所型サービス B
(住民主体による支援)

⇒ B 型の補助を受ける事業

通所型サービス B （住民主体による運営）

サービス
内容

- ①住民主体による多様な支援（体操、運動、趣味活動、交流、会食）等
 - ②週1回以上、1日3時間以上の開催
- ⇒**コミュニティカフェに体操を加えるイメージ**



対象者

○利用登録者の半分以上が要支援者 1・2、事業対象者

運営費用

市町村の一部補助（助成）

基準

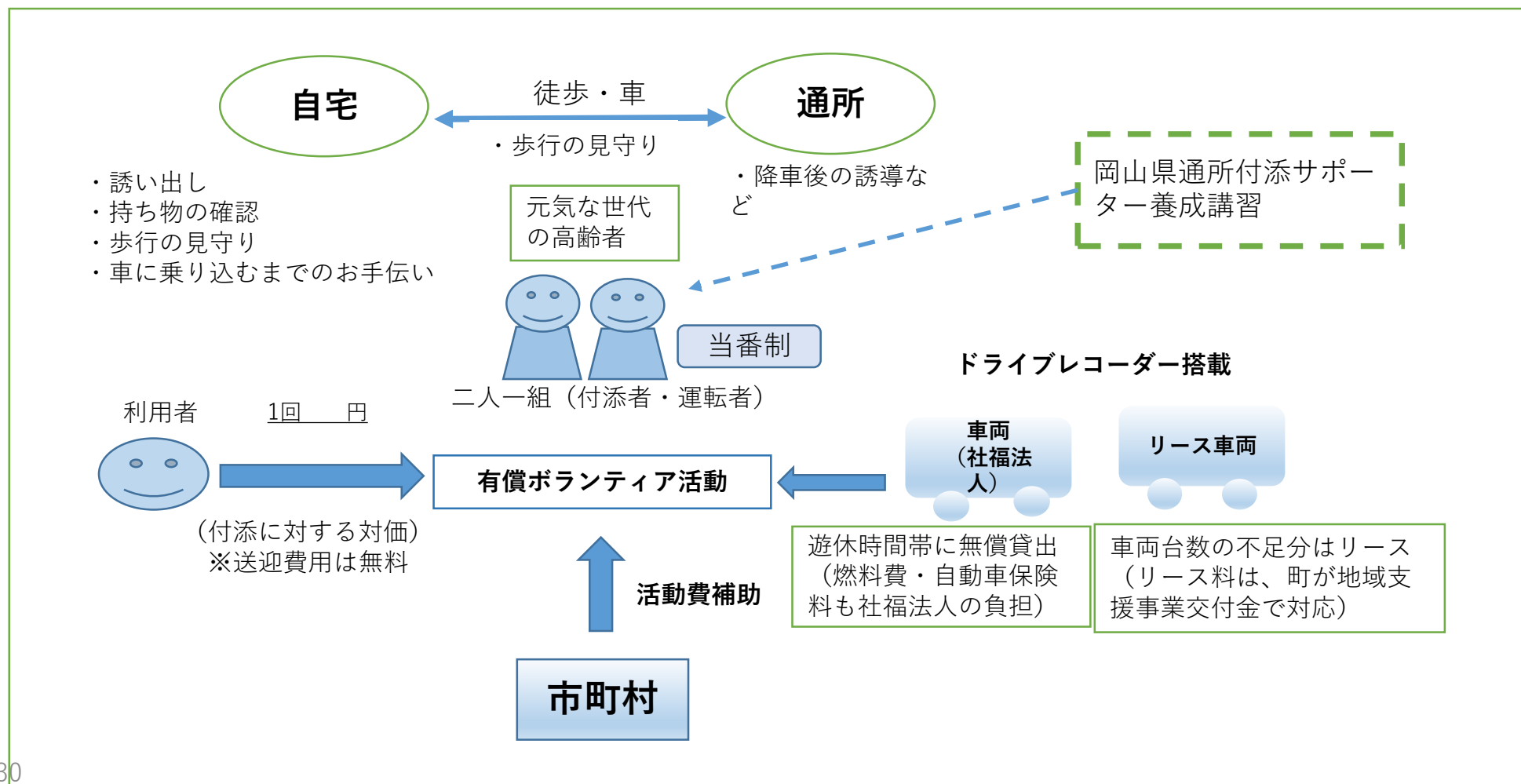
個人情報の保護等の最低限の基準、専門職は不要

2020/5/30 サービス 提供者

ボランティア主体（有償、無償ボランティア）

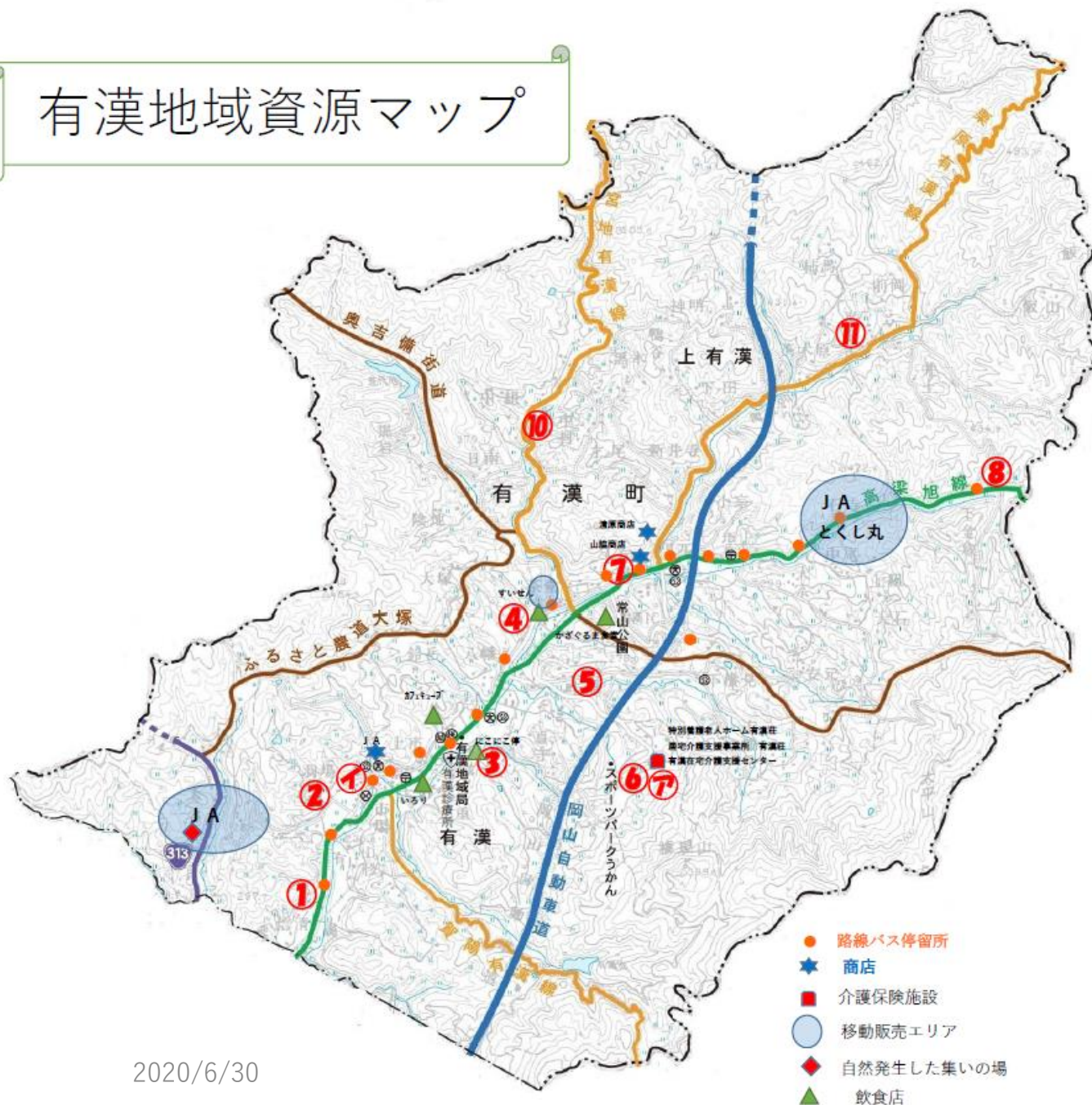
新たな通所参加のしくみ

通所付添サポーターは、住民互助の付添活動



3. 生活支援体制整備事業

有漢地域資源マップ



有漢地域 通いの場

	拠 点	団 体		開催頻度
		町内会	名 称	
①	信清公会堂	信清	ききょう会	不定期
②	羽場集会所	羽場	羽場ふれあいサロン	年10回
③	貞守集会所	貞守	貞守ふれあいサロン	不定期
④	茶師堂	茶堂	茶堂下組ふれあいサロン	"
⑤	陸地公会堂	陸地	陸地ふれあいサロン	"
⑦	土居公会堂	土居	土居ふれあいサロン	不定期
⑧	金倉集会所	金倉	金倉サロン	"
⑩	中組集落センター	中組	サロン中良会	"
⑥	有漢GG場クラブハウス	有漢「GGカフェ」		火曜・金曜
⑪	川間集落センター	カフェ「かたくりの華」		毎月1日 10時～15時

☑ 高梁市有漢診療所 (月・金) 診療時間 13:30～15:30
(有漢地域局舎内) ☎(0866) 57-3141

※元気なからだづくり隊グループ活動(高梁いきいきロコモ予防体操)

	場 所	グ ループ 名	開 催 日
⑦	有漢GG場	生き生き明地会	毎週金曜日 8:30～12時 冬13時～16時
④	ふれあいセンター	有漢すこやかクラブ	毎週金曜日 13:30～15:00 12月～3月は 毎週土曜日 13:30～15:00

おたすけ隊うかん	買物代行、ゴミ出し、電球交換等、軽微な作業 (1時間以内300円)	有漢地区社会福祉協議会 57-3218
----------	--------------------------------------	------------------------

移動販売車

とくし丸	水曜日 15:45	垣上
JA移動販売車	水曜日 15:10 土曜日 15:30	大谷 垣上

有漢地域 通いの場				
	拠 点	団 体		開催頻度
		町内会	名 称	
①	信清公会堂	信清	ききょう会	不定期
②	羽場集会所	羽場	羽場ふれあいサロン	年10回
③	貞守集会所	貞守	貞守ふれあいサロン	不定期
④	薬師堂	茶堂	茶堂下組ふれあいサロン	〃
⑤	畦地公会堂	畦地	畦地ふれあいサロン	〃
⑦	土居公会堂	土居	土居ふれあいサロン	不定期
⑧	金倉集会所	金倉	金倉サロン	〃
⑩	中組集落センター	中組	サロン中良会	〃
⑥	有漢GG場クラブハウス	有漢「GGカフェ」		火曜・金曜
⑪	川関集落センター	カフェ「かたくりの華」		毎月1日 10時～15時

+ 高梁市有漢診療所 (月・金) 診療時間 13:30～15:30 (有漢地域局舎内) ☎(0866)57-3141

※元気なからだづくり隊グループ活動(高梁いきいきロコモ予防体操)			
	場 所	グループ名	開催日
㊦	有漢GG場	生き生き明地会	毎週金曜日 8:30～12時 冬13時～16時
㊧	ふれあいセンター	有漢すこやかクラブ	毎週金曜日 13:30～15:00 12月～3月は 毎週土曜日 13:30～15:00

おたすけ隊うかん	買物代行、ゴミ出し、電球交換等、軽微な作業 (1時間以内300円)	有漢地区社会福祉協議会 57-3218
----------	--------------------------------------	------------------------

移動販売車			
とくし丸	水曜日	15:45	垣上
J A 移動販売車	水曜日	15:10	大谷
	土曜日	15:30	垣上

4. 在宅医療・介護連携推進事業

「ACP・人生会議」研修会（岡山県医師会移動会長室事業）

テーマ: ACP に至るまでの歴史、ACP の基礎を学ぶ

講演: 「ACP について考える」

講師: 岡山大学大学院ヘルスシステム統合化学研究科特任教授 松岡順治 先生



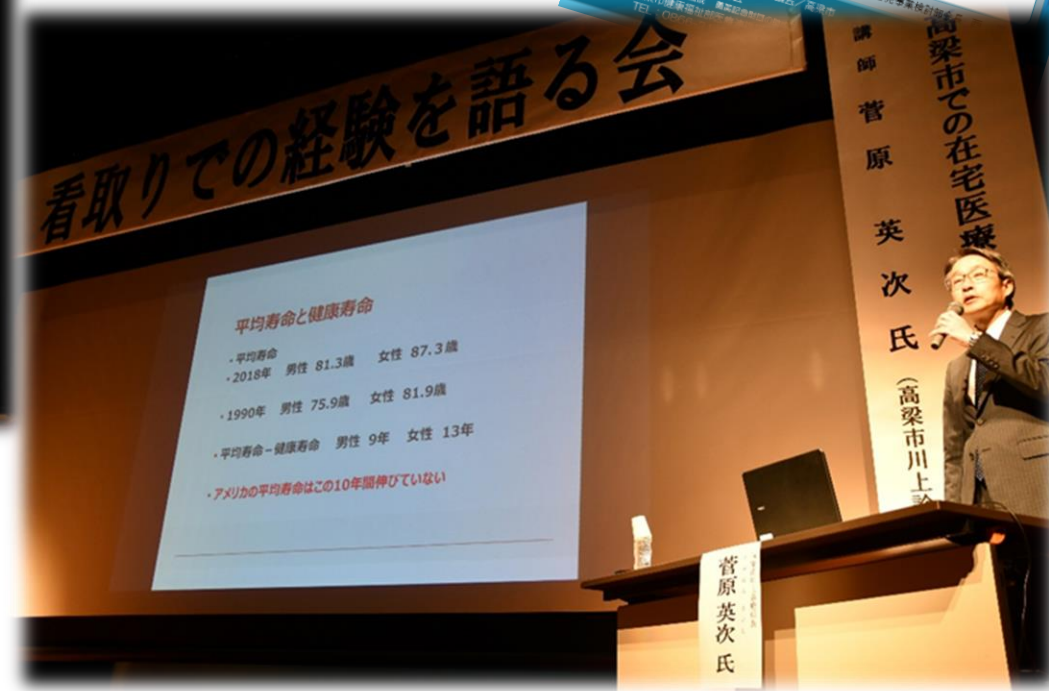
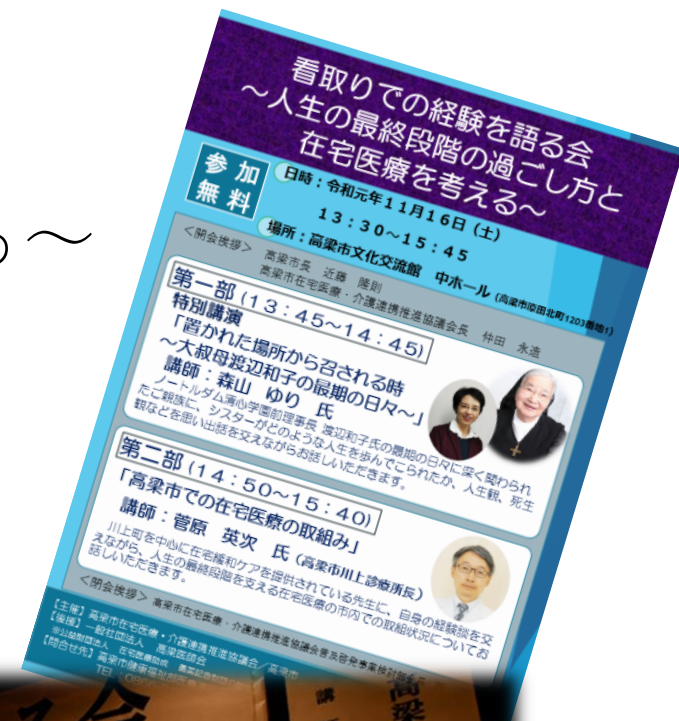
専門職向け研修

看取りでの経験を語る会

～人生の最終段階の過ごし方と在宅医療を考える～



2020/6/30



多職種連携研修会

講演:「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について

～在宅医療現場における患者の意思決定支援のために～」

講師:医療法人佐藤医院 理事長・院長 佐藤涼介 先生

グループワーク:多職種グループでの「もしバナゲーム」と話し合い



テーマ:相手の意思決定を引き出すコミュニケーションスキルを学ぼう!

講演:「価値観にアプローチするコミュニケーション技術」

講師:学習支援レインボー玉島教室 児童発達支援管理責任者 高橋千枝 先生

実践:二人一組でロールプレイ



視察研修

場 所:高梁市成羽長寿園(施設見学)

一般財団法人共愛会(視察研修会)

テーマ:県内の先進地の多職種連携の活動を視察し、人生の最終段階における医療・ケアの在り方、
医療・ケアの方針決定の手続きを学ぶ

内 容:活動報告「一般社団法人共愛会における ACP(アドバンス・ケア・プランニング)の実践と啓発活動について」
グループワーク「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を体験してみましょう」



摂食・嚥下研修会



高梁市医療・介護市民公開講座（R元年度）

寸劇 あなたを支える在宅医療 ～我が家で療養～

おじいさん、寝るばあして、私も疲れるんよ

な～んもしとうねえ。

最期まで家で過ごすことはできますよ。

2020/6/30

大杉病院の紹介

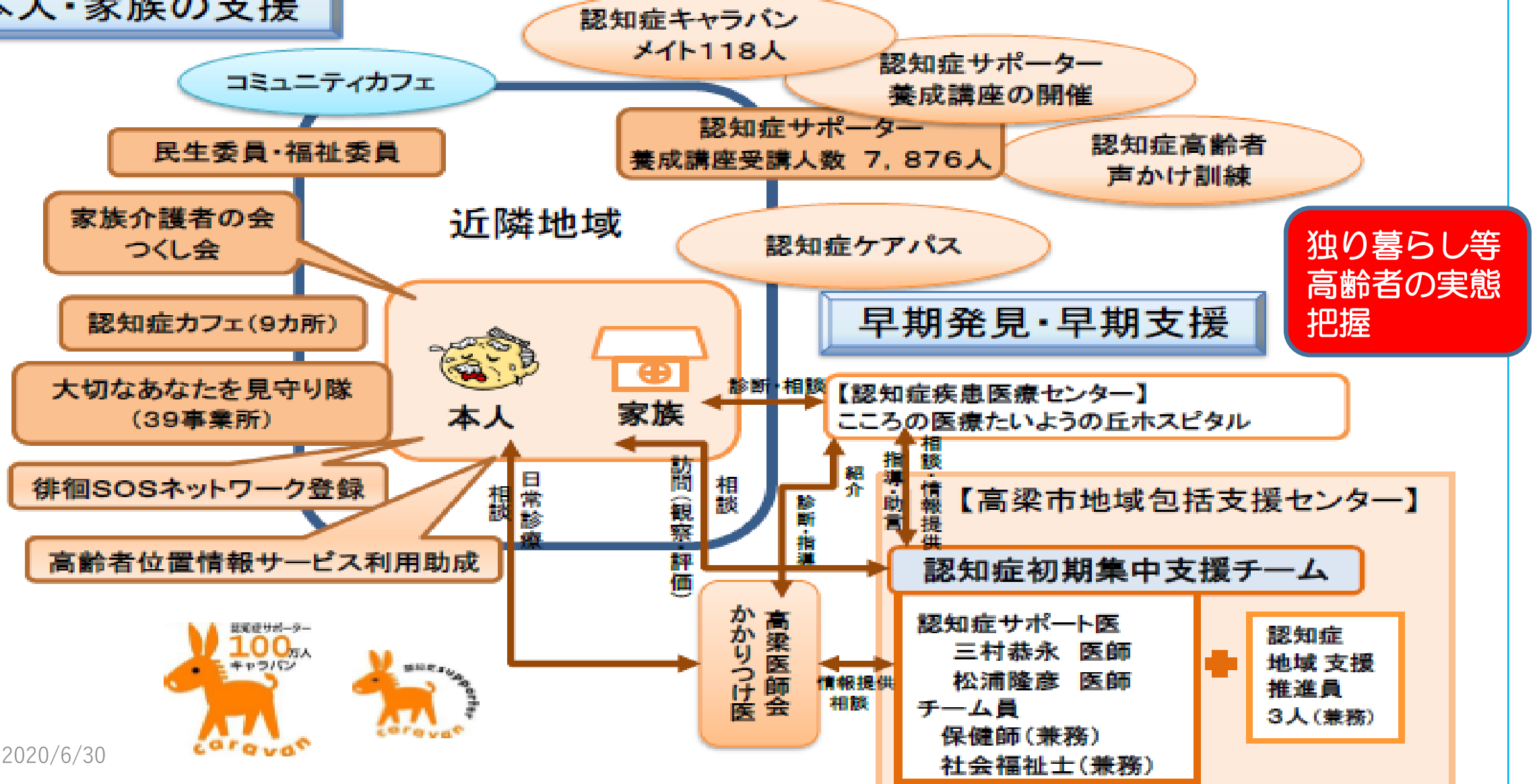


5. 認知症施策推進事業

1. 認知症の人の早期支援

～認知症施策推進事業～

本人・家族の支援



2. 認知症ケアパスの運用ルールの検討

～認知症施策推進事業～

《高梁市認知症ケアパス》

もの忘れ？うまくつきあうための手引き

あれ？どうしたんだろう？ 気になったらチェック！

認知症のサイン

- 何度も同じことを言ったり、聞いたりする
- おき忘れやしまい忘れが多くなった
- 知っているものの名前が出てこなくなった
- 財布がいつも小銭でパンパンになっている
- 見だしなみに気を使えなくなった
- 料理や洗たくの段とりが以前のようにうまくできなくなった
- 趣味に関心をみせなくなった
- ささいなことで怒りっぽくなった など



○まずはかかりつけ医に相談しましょう

不安があるときは、まずはかかりつけ医に相談してみましょう。
あなたの身体状況や病歴、普段の様子も把握しているので、いつもと様子が違うことなどに気が付いてもらいやすいです。
また、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」に相談してみるのも良いでしょう。



○かかりつけ医の紹介により専門医に受診しましょう

かかりつけ医により認知症の疑いがあると判断された場合には、必要に応じて専門医（認知症疾患医療センター）を紹介してもらえます。

○受診する時のポイント

できるだけ家族が付き添いましょう。
認知症の症状のあらわれ方には個人差があり、お医者さんの前では比較的はっきりと答えがでる場合もあります。
ありのままの姿を伝えるために、日頃からどのような症状が出ているのかをメモしておきましょう。



認知症の経過と対応

認知症を引き起こす疾患や身体状況などにより経過は異なり、必ずしもこのとおりの経過をたどるわけではありませんが、この先の経過の中で大まかな位置を知り、今後を見通す参考としてください。

	ひょっとして認知症かも？	認知症があっても日常生活はほぼ自立	誰かの見守りや指示があれば日常生活はなんとか自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 (見られる症状や行動の例)	●もの忘れをしても、本人にその自覚がある。 ●「あれ」「それ」「あの人」など代名詞が増える。 ●ヒントがあれば思い出す。	●買い物やお金の管理等にミスが増える。 ●同じことを何回も聞く、探し物が増える。 ●失敗が増えて、意欲や自信が減退する。	●料理などの段とりができなくなる。 ●時間や曜日だけでなく、季節や年次もあやふやになる。 ●慣れた道でたびたび迷うようになる。 ●感情の起伏が激しくなる。	●着替えやトイレ等がうまくできなくなる。 ●財布などを盗られたと言い出す（物盗られ妄想） ●自宅がわからなくなる。 ●時間・日時・季節がわからなくなる。	●度々一人で過ごすことが増える。 ●言葉によるコミュニケーションが難しくなるが、感覚は残る。 ●飲み込みが難しくなり食事に介助が必要になる。
やっておきたい・決めておきたいこと (ご家族などが取り組めること)	■認知症を予防するための規則正しい生活を心がける。 ■高血圧や糖尿病などの生活習慣病を管理する。 ■認知症を身近な病気として関心を持つ。 ■今後の生活設計（お金の管理、介護等）について考える。	■かかりつけ医や地域包括支援センターに相談する。 ■ミスや失敗を責めず、本人の不安を和らげる。 ■近親者などに伝えておく。 ■できるだけ本人の興味をひく活動をすすめる。	■医療のほかに介護保険などの支援についても知識を得る（相談する） ■役割を取り上げるのではなく、本人ができない部分を周囲が支援する。 ■地域の人に知らせ、見守りを依頼する。	■家族だけで支えようとしなくて、介護保険などの公的サービスなどを積極的に利用する。 ■サービスの利用で介護する人の心身の負担を軽減する。	■自宅での生活を継続するか、施設入所にするかを考える。 ■スキップなどのコミュニケーションを工夫する。 ■終末期（看取り）に備える。
相談	【地域包括支援センター/在宅介護支援センター】 【認知症初期集中支援チーム】 【介護支援専門員（ケアマネジャー）】				
予防のための活動	【元気なからだづくり隊・ミニデイサービス（高梁地域）・生きがいデイ】 介護予防のための通いの場 【ふれあいサロン・コミュニティカフェ・老人クラブ】 交流やサークル活動ができる通いの場【認知症カフェ】 認知症の人やその家族、地域の人、専門職等の交流 【シルバー人材センター・おたすけ隊】 知識や経験、技術を活かして活躍できる				
医療・介護	【かかりつけ医】 受診して相談する、診断を受ける 【認知症疾患医療センター たいようの丘ホスピタル】 認知症について専門的な治療、相談ができる 【通所介護・通所リハビリテーション】 通所でレクリエーションや入浴、食事などのサービスを利用できる 【訪問診療、訪問看護】 自宅で医療や看護を受ける				
認知症の人を支援する体制等	ひとり暮らしができる		ひとり暮らしが難しくなる		生活に手助けや介護が必要になる
	【ちょこっとお助けサービス】 【シルバー人材センター】 庭の手入れ等日常生活の軽度なサポート		【給食サービス】 食の確保、見守り 【移動販売】 買い物支援		
	【おたすけ隊】 軽度な生活援助		【訪問介護（ホームヘルパー）】 家事などの生活援助、排泄などの身体介護		
	【福祉移送サービス】 身体障害や高齢で通院等に困る場合のドア to ドアの移送サービス		【居宅介護支援・小規模多機能型居宅介護】 ケアマネジャーによるサービス導入などの生活調整		
	【愛育委員・福祉委員・民生委員・認知症サポーター等】 訪問・見守り【緊急通報システム・SOSネットワーク・位置情報サービス利用の助成】 安否確認、行方不明への備え		【短期入所生活介護・短期入所療養介護】 家族の急な出来事等による短期間の密着サービス利用		
	【家族介護者の会：つくし会】 【認知症カフェ】 【認知症サポーター】 本人、家族への支援		【日常生活自立支援事業】 お金の管理や福祉サービスの利用手続きに不安がある人の支援		【成年後見制度】 物事の判断ができなくなった人への支援
住まい	【住宅改修】 住みやすい住宅の整備		【特別養護老人ホーム・介護老人保健施設】 介護を受けられる施設		
	【ケアハウス】 見守り付きの施設		【認知症グループホーム】 家庭的な雰囲気の中で共同生活ができる施設		
	【有料老人ホーム・介護付きケアハウス】 有料で介護を受けられる施設				

参考：斉

3. 認知症カフェの拡大

～認知症施策推進事業～



高梁市認知症カフェマップ

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域の人、介護や福祉の専門職など誰でも、気軽に集える場所です。ここでは、認知症について知る、学ぶ、考えることができます。

日頃の介護ストレスの軽減にくわえ、あらたな出会い、地域とのつながりの場でもあります。

さあ、気楽な気持ちで一度訪れてみましょう。

★飲み物、お菓子代として200円程度お持ちください。

カフェ強ちゃん ⑤

第4月曜日 14:00～16:00

場所: 特別養護老人ホームちかのり 地域交流センター

☎0866-22-6611



なりわ茶屋 in 川北 ⑧

月1回 10:00～12:00

場所: 成美集会所

☎0866-42-5333(厨宅道)



なりわ茶屋 ⑦

第3火曜日 13:30～15:30

場所: 成羽文化センター

☎0866-42-2700 (まつうらクリニック)



かわかみ茶坊 ⑨

第3土曜日 13:30～15:30

場所: 領家コミュニティハウス または 宝鏡寺

☎0866-48-3176(宝鏡寺)



マスカットカフェ in 高梁 ②

第1火曜日 13:30～15:30

場所: マスカット薬局高梁店

☎0866-21-2122



オレンジカフェ「おしゃべり広場」 ①

第2・4木曜日 10:00～14:00

場所: 花屋跡(高梁総合郵便局隣)

☎090-1017-4757(岡村)



和(なごみ)カフェ ④

第3火曜日 14:00～16:00

場所: 白和荘 6階地域交流室

☎0866-22-5529(白和荘)



カフェ すずらん ③

第2日曜日 13:30～15:30

場所: デイサービスすずらん3階

☎0866-22-2387



ふらっとカフェ オレンジ ⑥

第3木曜日 13:30～15:30

場所: 奇数月⇒今津中集会所
場所: 偶数月⇒八川農村生活改善センター

☎0866-22-1881(ウェルネス津川)



認知症カフェのお問い合わせは
高梁市地域包括支援センター ☎ 0866-21-0300 までお願いします。



チームオレンジの基盤づくり

☆チームオレンジとは

- ・『認知症早期の空白期間』の悩みや困りごとに対して、チームを組んで支援するもの
- ・認知症サポーターがステップアップ研修を受講してチームのメンバーとなり、チームを組んで活動する。

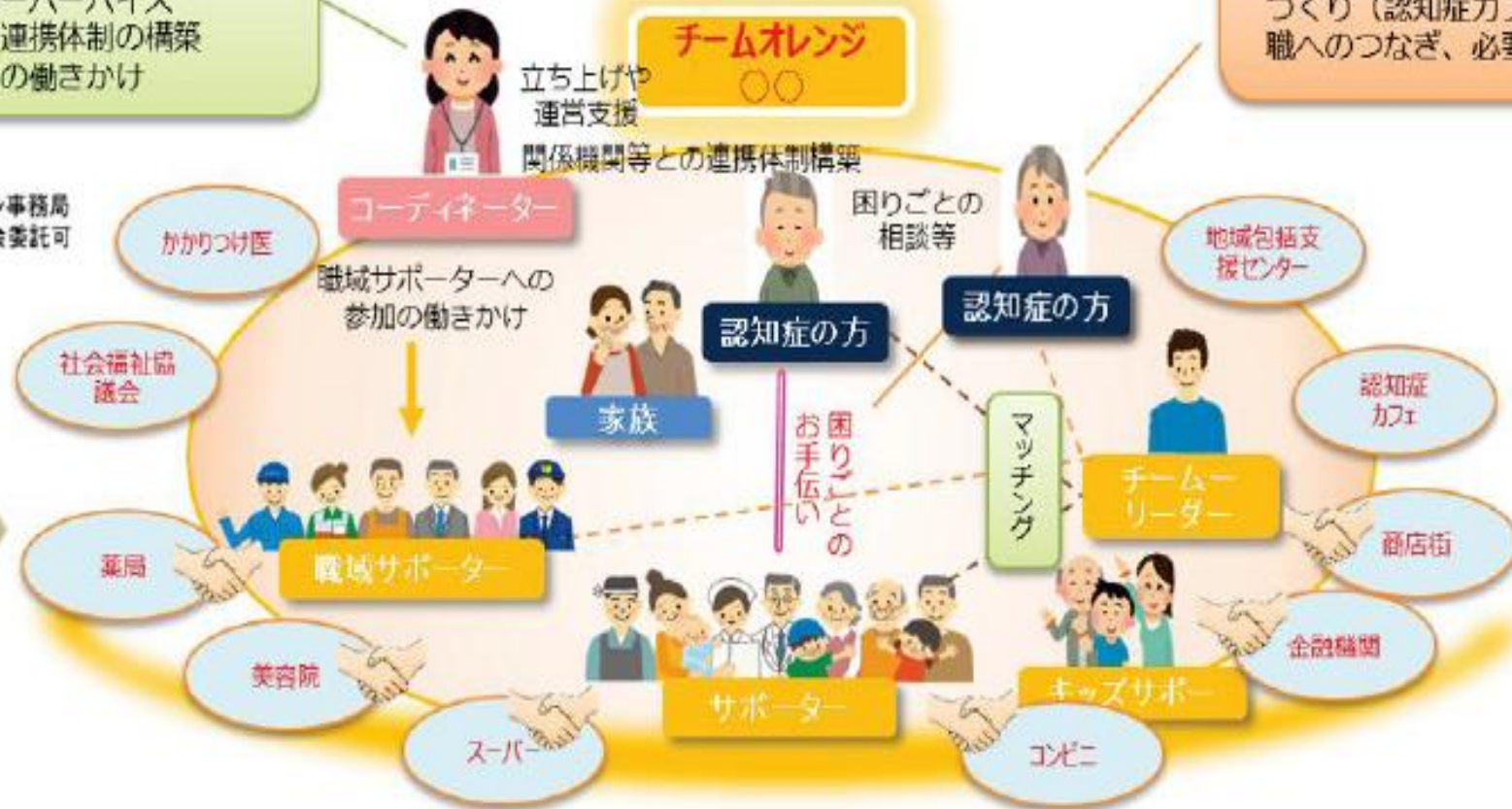
4. 認知症サポーターの活躍の場の検討

～認知症施策推進事業～

チームオレンジの基盤づくり

- ・仕組みづくりに関する検討会の開催
- ・チームの立ち上げ支援
- ・チームの運営に対するスーパーバイズ
- ・地域の企業や事業者との連携体制の構築
- ・職域サポーターへの参加の働きかけ

【ステップアップ実施主体】
●市町村認知症サポーターキャラバン事務局
●市町村キャラバン・メイト連絡協議会委託可
(ステップアップ研修)



見守り・声かけ、話し相手、外出支援、ボランティア訪問等、孤立しないための関係づくり（認知症カフェの同行・運営参加）、専門職へのつなぎ、必要な窓口の紹介等

6. 地域ケア会議の推進

<政策形成>

<個別課題の解決・地域支援体制・資源開発>

介護保険事業計画推進委員会

医療計画検討委員会

地域包括支援センター運営協議会

地域包括ケアシステム
検討委員会

第1層協議体

認知症施策検討委員会

在宅医療・
介護連携推進協議会



多職種連携検討会議

高齢者虐待コメンター会議

市民後見人受任調整会議

地域ケア個別会議

第2層協議体

第3層協議会

認知症地域支援推進員

認知症サポーター
養成

SOSネットワーク

認知症初期集中支援チーム

認知症カフェ

実務者部会

個別事例の発見

小地域ケア会議

小地域福祉
ネットワーク事業



地域包括ケアシステム検討委員会

目的：地域包括ケアシステム構築

- ① 資源開発、サービス体制の整備・検討
- ② 地域支え合い体制整備
- ③ 生活支援体制整備・検討

認知症施策検討委員会

目的：認知症の状態に応じた適切なサービス体制の整備

- ① 認知症高齢者の支援
- ② 早期発見・対応できる体制づくり
- ③ 切れ目のない医療・介護の体制づくり
- ④ 認知症とその家族への支援
- ⑤ 認知症理解のための環境づくり

在宅医療・介護連携推進協議会

目的：地域格差のない医療・介護提供体制の整備

- ①地域の医療・介護の資源の把握
- ②連携の課題の抽出と対応策の検討
- ③切れ目のない提供体制の構築推進
- ④医療・介護関係者の情報共有の支援